(H.25)No.

3074

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

事務事業名 私立幼稚園就園奨励補助金(補助分)

担当部局名担当室名室長名子ども部保育幼稚園室貝増 輝幸

	会計区分	事業コード	491001	
	一般会計	(中事業名)※予算書事業名		
款	教育費		私立幼稚園就	忧園奨励事業
項	幼稚園費		(小事	業名)
目	私立幼稚園振興	費	私立幼稚園就園奨	励補助金(補助分)

3074

1. 事務事業の位置付け

主な事業の

実績・計画

総	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
合計画	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	
	小 施 策	1	幼児教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

(H.26)No.

事業目的(めざす効果)

公·私立幼稚園間の保護者負担の格差を少なくし、幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の普及を図る。

事業内容

私立幼稚園奨励補助金(国庫補助)

幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の普及を図る とともに、私立幼稚園に幼児を就園させている保護者 の負担を軽減する。

文部科学省の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に 基づき、幼児の属する世帯の所得の状況に応じて保育 料を減免する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画 H.25年度(事業量・取組実績) H.26年度(事業量・取組計画)

· -- - --

<変更内容> 幼稚園に同時就園している場合の第3子以降に対する補助 金の所得制限を撤廃し、対象 者を拡大した。

<支給対象人数> 658人 文部科学省の幼稚園就園奨 励費補助金交付要綱に基づ き、就園家庭に対し補助。

<変更内容>

幼稚園に同時就園及び小学校3年生以下の兄・姉がいる場合の第2子・第3子以降に対する補助金の所得制限を撤廃する。

<支給予定人数> 725人

H.27年度(事業計画) H.28年度(事	業計画)H.29年度(事業計画)
補助金の支給補助金の	ラ支給 補助金の支給

		H.25年度(決	算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費			66,299千円	102,634千円	103,000千円	103,000千円	103,000千円
	国·県支出金		16,273	34,211	34,300	34,300	34,300
	地方債						
	その他()						
円 —	一般財源	(0)	50,026	68,423	68,700	68,700	68,700
人	職員		0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
数数	臨時職員等		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
②概算人件費		(0千円)	1,614千円	1,614千円	1,614千円	1,614千円	1,614千円
(1)	-②総事業費	(0千円)	67,913千円	104,248千円	104,614千円	104,614千円	104,614千円

4. 担当室による事務事業の点検(*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)

今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)

幼稚園に同時就園している場合の第3子以降に対する補助金の所得制限を撤廃したことで対象者拡大の制度見直しを実施した。引き続き、 多子世帯への保護者負担の軽減を図る必要がある。

国の制度改正に合わせ、補助単価の引き上げ、多子世帯の負担軽減の拡充を実施することで、更に幼稚園への就園を奨励する。

点検項目

内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)

(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)

(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない

私立幼稚園に幼児を就園させている保護者の負担を軽減することにより、幼稚園への就園を奨励し小学校就学前の子どもの育ちを支え、幼稚園教育の普及を図ることができた。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】

継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)

継続(改善)

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由

平成27年度から子ども・子育て新制度の施行により、私立幼稚園の運営費は幼稚園の選択により保育所と同様に、市からの一体給付となる。

次世代育成支援行動計画